

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730140

研究課題名（和文） 金融市場の不完全性とマクロ経済分析

研究課題名（英文） Macroeconomic analysis with imperfect financial markets

研究代表者

中嶋 智之 (NAKAJIMA, Tomoyuki)

京都大学・経済研究所・准教授

研究者番号：50362405

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・理論経済学

キーワード：景気循環、非完備市場、資産価格、担保制約

1. 研究計画の概要

金融市場が非完備なケースにおける財政・金融政策を考察するためのモデルの構築とその理論的・数量的分析を行う。

2. 研究の進捗状況

(1) 担保制約のもとでの経済変動については、経済産業研究所の小林慶一郎氏との共同研究を継続・発展させ、人々の将来に対する期待の変化が担保制約を通じて実体経済に与える影響について分析を行った。

(2) 効率的賃金理論を用いて、非自発的失業が存在するようなマクロ経済モデルを粘着価格モデルと統合することによって、非自発的失業の存在が存在する場合に最適な金融政策がどのような特徴をもつかについて分析を行った。

(3) 非完備市場をもつ内生的成長モデルを用いて、相対的危険回避度と異時点間の消費の代替の弾力性とが経済にどのような影響を持つかについて分析を行った。(東京大学の Anton Braun 教授との共同研究)

(4) New Keynesian モデルに非完備市場を導入し、それが最適な金融政策にどのような影響を与えるかを分析した。(東京大学 Anton Braun 教授との共同研究)

(5) 非完備市場における最適な税制に関する研究を行った。(梶井厚志京都大学教授、Piero Gottardi European University Institute 教授との共同研究)

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

上述の5つのテーマすべてについて得られた結果を論文にまとめることができたこと。そのうち、(2)についてはすでに国際査読誌に発表済みで、(4)については、国際査読誌から revise and resubmit の要請がきており、(1)と(5)については、現在国際査読誌に投稿中である。

4. 今後の研究の推進方策

上述の5つのテーマのうち(3)については速やかに国際査読誌へ投稿できる段階にまで論文を仕上げる。(5)については関連する新しい論文を準備中であるので、それについても速やかに論文にまとめる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- (1) 著者名：荒戸寛樹、中嶋智之
題名：“共有知識の不完全性とマクロ経済学”
雑誌名：経済研究
査読：無
巻：近刊
発行年：近刊
- (2) 著者名：Nakajima, Tomoyuki
題名：“Optimal monetary policy with imperfect unemployment insurance”
雑誌名：Journal of Economic

Dynamics and Control

査読： 有

巻： 34

発行年： 2010

ページ： 365-387

〔学会発表〕（計 3 件）

- (1) 発表者：中嶋智之
発表表題：Optimal taxation and constrained inefficiency
会議名：第4回若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス（招待講演）
発表年月日：2010年3月15日
発表場所：千里阪急ホテル（大阪）
- (2) 発表者：中嶋智之
発表表題：Optimal taxation and constrained inefficiency
会議名：International Conference on Economic Growth, Dynamics, and Policies
発表年月日：2009年11月20日
発表場所：GRIPS (Tokyo, Japan)
- (3) 発表者：中嶋智之
発表表題：Optimal taxation and constrained inefficiency
会議名：Conference on Economic Growth and Macro Policies
発表年月日：2009年9月17日
発表場所：Seoul National University (Seorul, Korea)